

第4回 観光戦略実行推進タスクフォース 議事要旨

1. 日時：平成28年7月26日（火）14:00～15:00

2. 場所：官邸2階小ホール

3. 出席者：

（政府側）

菅内閣官房長官、石井国土交通大臣、萩生田内閣官房副長官、杉田内閣官房副長官、和泉内閣総理大臣補佐官、古谷内閣官房副長官補、田村観光庁長官、松永内閣官房内閣審議官、蝦名内閣官房内閣審議官、田島内閣官房行政改革推進本部事務局次長、頼内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局次長、岡西内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官、井内内閣府大臣官房総括審議官、野村宮内庁長官官房審議官、山本警察庁長官官房総務課長、遠藤金融庁監督局長、福岡消費者庁審議官、大鹿復興庁統括官付審議官、長屋総務省大臣官房総括審議官、佐々木法務省大臣官房審議官、大鷹外務省大臣官房参事官、宮川外務省領事局審議官、梶川財務省関税局長、有松文部科学省生涯学習政策局長、中岡文化庁次長、北島厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部長、佐藤農林水産省農村振興局長、安藤経済産業省商務情報政策局長、藤田国土交通省総合政策局長、亀澤環境省自然環境局長、西田防衛省大臣官房審議官

（有識者・敬称略）

生駒芳子（ファッションジャーナリスト・一般社団法人フュートゥラディションワオ代表理事）、石井至（石井兄弟社（旅行ガイド出版社）社長）、井上慎一（Peach Aviation 株式会社代表取締役 CEO）、大西雅之（鶴雅ホールディングス株式会社代表取締役社長）、小田真弓（旅館 加賀屋 女将）、唐池恒二（九州旅客鉄道株式会社社長）、金野幸雄（一般社団法人ノオト代表理事）、クルト巖蔵（高野山無量光院僧侶）、世古洋介（三井不動産株式会社執行役員ホテル・リゾート本部長）、デービッド・アトキンソン（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）、李容淑（関西国際大学客員教授）

4. 議題：観光ビジョンに掲げた施策の実現に向けた有識者からのヒアリング

5. 議事概要

- クルト氏より高野山における文化的資源の観光活用について（資料2）、生駒氏より伝統的工芸品等の魅力発信を通じた観光活性化について（資料3）、世古氏より多様なニーズに応える宿泊施設事業の提供について（資料非公表）、金野氏より歴史的資源を活用した観光まちづくりについて（資料4）、それぞれ資料に基づきプレゼン。

○意見交換において、有識者から以下のご発言あり。

【石井至氏】

- ・国立公園内に富裕層向けの宿泊施設が不足しているので、誘致をお願いしたい。

【井上慎一氏】

- ・グループツアーではなく富裕層の個人旅行者をターゲットにしていくべき。
- ・海外でのPRは個社でなく全体で取り組むことが重要。

【大西雅之氏】

- ・富裕層の更なる誘客に向けて、地域では上質ブランドの誘致が必要である。
- ・地方での成功事例の横展開が重要。

【デービッド・アトキンソン氏】

- ・国全体として海外への戦略的なPRが十分でない。マーケティングデータを徹底的に分析し、属性ごとに多様なコンテンツを発信することで、効果が上がる。
- ・多言語解説整備について、ネイティブチェックを必ず入れるべき。
- ・欧州からの観光客は増加しているが、特にアウトバウンド数世界第3位のドイツからの誘客に積極的に取り組む必要。

【李容淑氏】

- ・アジアから個人旅行が増加しており、二次交通の充実が必要。

○菅内閣官房長官、石井国土交通大臣よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【菅内閣官房長官】

- ・有識者の皆様には、大変お忙しい中でプレゼンいただき感謝申し上げます。我が国の歴史、文化、自然、食といった多様で豊富な観光資源を磨き上げ、現実的に活用していらっしゃる、本当にすばらしい。
- ・その中で、富裕層、若者等ターゲットを明確にした体制、設備を整えるべきというお話もいただき、各省がしっかりと連携し、観光戦略を次いっこうに移していきたい。
- ・今年に入ってから、訪日外国人旅行者数は対前年比28%増、消費額も18%増であり、過去最高を今年も更新する勢いである。
- ・現在、総合経済対策を策定中であるが、この中にも観光振興のためのインフラ整備を取り入れていきたい。できることは全てやるという総理の指示の下、これからも観光に取り組んで参りたいので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

【石井国土交通大臣】

- ・さらに高レベルの観光先進国を目指して、総理からご指示があった経済対策により、クルーズ船を受け入れる港湾施設、空港、観光施設等の観光振興のためのインフラ整備を加速させ、観光ビジョンに掲げられた政策を政府一丸となりスピード感を持って実行することが重要である。

- ・各省においては、本日の有識者からのご意見をはじめ、新たなニーズや発想に対応して取組を加速していただきたい。

○蝦名内閣官房内閣審議官より閉会

- ・本日の第4回会合はここで閉会する。なお、次回日程は追って連絡する。

以 上